

管 理 業 務

病 院 総 務 課
病 院 施 設 課
病 院 建 設 課
病院運営機関・各種業務委員会

病院総務課

1) 総務担当

1. 昇任 (平成21年4月1日付)

内分泌・代謝内科医長 朴 貴典 (内分泌・代謝内科医師)
 消化器内科医長 大野 和也 (消化器内科医師)
 精神科医長 横島 孝至 (精神科医師)
 救急治療室科長兼外科医長 竹花 卓夫 (外科医長)
 地域医療支援室参事 高橋 啓 (医事課統括主幹)
 医事課長 内田 隆夫 (地域医療支援室参事)
 参与兼病院施設課長 川口 明秀 (病院施設課長)
 看護師長 前田 弘子 (副看護師長)
 看護師長 榎本 康世 (副看護師長)
 副看護師長 後藤 薫 (主任看護師)
 副看護師長 塩坂 文緒 (主任助産師)
 副看護師長 山口久仁代 (主任看護師)
 副看護師長 大石 千晴 (主任看護師)
 主任看護師 小林由紀子 (副主任看護師)
 主任看護師 昌沢喜代子 (副主任看護師)
 主任看護師 佐野 佳美 (副主任看護師)
 主任看護師 荒武百合子 (副主任看護師)
 主任看護師 松嶋 順子 (副主任看護師)
 主任看護師 兼高 律子 (副主任看護師)
 主任看護師 佐藤 純子 (副主任看護師)
 主任看護師 中村真理子 (副主任看護師)
 主任看護師 野口 純世 (副主任看護師)
 副主任看護師 繁田 真実 (看護師)
 副主任看護師 渡邊 美佳 (看護師)
 副主任看護師 後藤 祐子 (看護師)
 副主任看護師 長崎小津恵 (看護師)
 副主任看護師 岡野 洋子 (看護師)
 副主任看護師 望月 路子 (看護師)
 副主任看護師 石上 芳野 (看護師)
 薬剤科副技師長 内田 秀子 (薬剤科主任薬剤師)
 検査技術科副技師長 桑山 安代 (検査技術科主任臨床検査技師)
 検査技術科主任臨床検査技師 高村比路華 (検査技術科臨床検査技師)
 医事課主幹 岡本 浩明 (医事課副主幹)

2. 転入 (平成21年4月1日付)

医療安全管理室主任主事 向島光太郎 (環境局廃棄物対策部収集業務課主任主事)
 薬剤科主任薬剤師 小山 暢之 (保健所保健予防課主任薬剤師)

病院総務課参事兼統括主幹 齋藤 隆之 (上下水道局水道部水道総務課参事兼水道企画室長)
 病院総務課主任主事 櫻井もえ美 (葵区保険年金課主任主事)
 病院施設課参事兼統括主幹 松田 光広 (葵区福祉事務所保育児童課統括主幹)
 病院施設課主事 別府 貴文 (上下水道局水道部営業課主事)
 病院建設課主任技師 野口 信 (都市局建築部住宅課主任技師)
 医事課統括主幹 川口 則行 (環境局環境創造部環境保全課主幹)
 医事課主任主事 三浦 和宏 (都市局都市計画部街路課主任主事)

3. 転出 (平成21年3月31日付)

総務局総務部情報管理課統括主幹 水上 卓彦 (医療安全管理室主管)
 保健所生活衛生課薬剤師 土屋 仁美 (薬剤科薬剤師)
 建設局土木部河川課参事兼統括主幹 小林 満明 (病院総務課参事兼統括主幹)
 保健福祉子ども局子ども青少年部青少年育成課副主幹 梅田しおり (病院総務課副主幹)
 清水高部保育園主任保育士 高瀬由紀子 (病院総務課主任保育士)
 田町保育園保育士 鈴木 知 (病院総務課保育士)
 都市局都市計画部街路課統括主幹 小長井邦夫 (病院施設課統括主幹)
 経済局農林水産部農林総務課統括主幹 増田 保 (病院施設課主幹)
 都市局建築部建築総務課主幹 大石喜久也 (病院建設課主幹)
 環境局環境創造部環境総務課主任主事 岩城 大輔 (医事課主事)

4. 採用 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

教育研修管理室科長兼呼吸器内科医長 松田 宏幸 平成21年4月1日
 精神科医師 鈴木千歌子 平成21年4月1日
 循環器内科医長 小野澤陽子 平成21年4月1日
 循環器内科医長 竹内 亮輔 平成21年4月1日
 心臓血管外科医師 糸永 竜也 平成21年4月1日
 麻酔科医師 齋藤 公紹 平成21年4月1日
 泌尿器科専攻医 土橋 一成 平成21年4月1日
 耳鼻いんこう科専攻医 河合 良隆 平成21年4月1日
 外科専攻医 小林 淳志 平成21年4月1日
 内科専攻医 宮川 幸子 平成21年4月1日

麻 醉 科 專 攻 医 篠原 洋美 平成21年11月30日
 未熟児室科長兼小児科医長 東 卓司 平成22年 3 月31日
 外 科 医 師 後藤 俊彦 平成22年 3 月31日
 循 環 器 内 科 医 師 渡邊 祐三 平成22年 3 月31日
 産 婦 人 科 医 師 杉山 緑 平成22年 3 月31日
 口 腔 外 科 歯 科 医 師 名生 邦彦 平成22年 3 月31日
 呼 吸 器 外 科 医 師 尾北 賢治 平成22年 3 月31日
 小 児 科 医 師 深山 雄大 平成22年 3 月31日
 呼 吸 器 内 科 專 攻 医 菅沼 史恵 平成22年 3 月31日
 呼 吸 器 内 科 專 攻 医 佐竹 康臣 平成22年 3 月31日
 循 環 器 内 科 專 攻 医 園田 桂子 平成22年 3 月31日
 整 形 外 科 專 攻 医 鈴木 大輔 平成22年 3 月31日
 内 科 研 修 医 遠山 哲夫 平成22年 3 月31日
 内 科 研 修 医 久保 輝晃 平成22年 3 月31日
 内 科 研 修 医 田中 宏明 平成22年 3 月31日
 口 腔 外 科 研 修 医 清水 揚子 平成22年 3 月31日
 循 環 器 内 科 医 師 小野寺修一 平成22年 3 月31日
 看 護 師 秋山 美樹 平成21年 4 月30日
 副 主 任 看 護 師 棚田 昭子 平成21年 6 月30日
 看 護 師 深井 睦子 平成21年 7 月31日
 看 護 師 多々良麗恰 平成21年 7 月31日
 主 任 看 護 師 山城 美帆 平成21年 9 月30日
 主 任 看 護 師 梅原 美文 平成21年 9 月30日
 看 護 師 田中 牧子 平成21年 9 月30日
 看 護 師 安形 純子 平成21年 9 月30日
 看 護 師 曾根佳代乃 平成21年10月16日
 看 護 師 監物 亮子 平成21年10月31日
 主 任 看 護 師 フォーブス真実 平成21年11月21日
 看 護 師 赤羽 麻里 平成21年12月31日
 看 護 師 鈴木 晶子 平成21年12月31日
 看 護 師 佐藤 智子 平成21年12月31日
 看 護 師 鶴亀真依子 平成22年 1 月31日
 主 任 看 護 師 平 ゆかり 平成22年 2 月17日
 看 護 師 長 桐山まき子 平成22年 3 月31日
 副 看 護 師 長 鈴木 恵子 平成22年 3 月31日
 副 看 護 師 長 加藤 修子 平成22年 3 月31日
 主 任 准 看 護 師 狩野嘉代子 平成22年 3 月31日
 主 任 看 護 師 望月 好美 平成22年 3 月31日
 副 主 任 看 護 師 渥美 麻紀 平成22年 3 月31日
 副 主 任 看 護 師 河合 栄子 平成22年 3 月31日
 看 護 師 細谷 夕加 平成22年 3 月31日
 看 護 師 堀 有里 平成22年 3 月31日
 看 護 師 佐野 奈穂 平成22年 3 月31日
 助 産 師 鈴木 智子 平成22年 3 月31日
 看 護 師 漆畑 美帆 平成22年 3 月31日
 看 護 師 松田千安紀 平成22年 3 月31日
 看 護 師 有賀 智代 平成22年 3 月31日
 看 護 師 金沢 誠樹 平成22年 3 月31日

看 護 師 竹内 慶 平成22年 3 月31日
 看 護 師 服部美穂子 平成22年 3 月31日
 看 護 師 天笠 真紀 平成22年 3 月31日
 看 護 師 佐野 仁美 平成22年 3 月31日
 看 護 師 岩波 鮎美 平成22年 3 月31日
 主 任 看 護 師 兼高 律子 平成22年 3 月31日
 看 護 師 広海 恵子 平成22年 3 月31日
 副 看 護 師 長 谷沢美恵子 平成22年 3 月31日
 看 護 師 伊東 舞子 平成22年 3 月31日
 看 護 師 佐藤 美穂 平成22年 3 月31日
 薬 剂 科 副 技 師 長 小林 真澄 平成22年 3 月31日
 病 院 総 務 課 副 主 幹 石上美恵子 平成22年 3 月31日
 医 事 課 主 任 事 務 員 桜井きし江 平成22年 3 月31日

6. 兼職 (平成21年 4 月 1 日付)

副 病 院 長 兼 呼 吸 器 内 科 長 兼 教 育 研 修 管 理 室 長 平田 健雄 (副 病 院 長 兼 呼 吸 器 内 科 長 兼 臨 床 研 修 指 導 室 長)
 診 療 部 長 兼 内 分 泌 ・ 代 謝 内 科 長 兼 神 經 内 科 長 兼 精 神 科 長 脇 昌子 (診 療 部 長 兼 内 分 泌 ・ 代 謝 内 科 長 兼 神 經 内 科 長)
 教 育 研 修 管 理 室 科 長 兼 呼 吸 器 内 科 医 長 山田 孝 (臨 床 研 修 指 導 室 科 長 兼 呼 吸 器 内 科)
 教 育 研 修 管 理 室 科 長 兼 産 婦 人 科 医 長 米澤 真澄 (臨 床 研 修 指 導 室 科 長 兼 産 婦 人 科 医 長)
 教 育 研 修 管 理 室 科 長 兼 外 科 医 長 米沢 圭 (臨 床 研 修 管 理 室 科 長 兼 外 科 医 長)
 教 育 研 修 管 理 室 主 査 兼 医 事 課 主 査 鈴木 暁 (病 院 総 務 課 主 査)
 内 科 長 兼 教 育 研 修 管 理 室 科 長 兼 血 液 内 科 医 長 前田 明則 (内 科 長 兼 臨 床 研 修 指 導 室 科 長 兼 血 液 内 科 医 長)
 血 液 内 科 長 兼 輸 血 科 長 兼 教 育 研 修 管 理 室 科 長 石橋 孝文 (血 液 内 科 長 兼 輸 血 科 長 兼 臨 床 研 修 指 導 室 科 長)
 病 理 診 断 科 長 兼 臨 床 検 査 科 長 森木 利昭 (病 理 診 断 科 長)

2) 企画経理担当

企画経理担当は、企画部門（「病院の基本計画の企画調整に関すること」「病院医療情報システムに関すること」）と、経理部門（「病院の出納及び予算・決算に関すること」）からなっている。

基本計画関連では、静岡市病院経営計画において平成22年度末を目途に方針決定するとしていることに対応するため庁内検討会を開催した。

医療情報システム関連では、院内システムの管理運営

を行った。

平成21年度の決算状況は、事業収益、事業費用ともに、前年比2.7%増のそれぞれ173億4,524万円、173億4,024万円となり、当年度純利益は、500万円となった。一般会計補助金を差し引いた実質収支は5億1,500万円の損失で、前年度に比べ1億8,783万円の損失増となった。

その他の業務として、病院機能評価関連事務、治験審査関連事務、臓器移植関連事務等を行った。

表1 収益的収入及び支出

収入（税込み）

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	円	円	円
病院事業収益	17,433,861,000	17,372,093,372	△ 61,767,628
医業収益	15,277,193,000	15,694,635,427	417,442,427
医業外収益	2,066,668,000	1,677,457,945	△ 389,210,055
特別利益	90,000,000	0	△ 90,000,000

支出（税込み）

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	円	円	円
病院事業費用	17,460,361,000	17,356,376,447	103,984,553
医業費用	16,758,251,000	16,681,667,870	76,583,130
医業外費用	701,110,000	674,708,577	26,401,423
予備費	1,000,000	0	1,000,000

表2 資本的収入及び支出

収入（税込み）

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	円	円	円
資本的収入	1,340,255,000	1,342,490,000	2,235,000
企業債	666,000,000	666,000,000	0
出資金	222,000,000	222,000,000	0
他会計支出金	452,000,000	452,000,000	0
貸付金返還金	255,000	330,000	75,000
県支出金	0	2,160,000	2,160,000

支出（税込み）

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	円	円	円
資本的支出	3,678,652,000	3,532,677,568	145,974,432
建設改良費	3,366,623,000	3,223,134,887	143,488,113
貸付金	14,400,000	13,650,000	750,000
企業債償還金	297,629,000	295,892,681	1,736,319

表3 損益計算書

科目	金額		構成比率	
	21年度	20年度	21年度	20年度
	円	円	%	%
医業収益	15,672,292,902	14,435,622,585	90.4	85.5
入院収益	9,705,695,344	8,939,264,927	56.0	52.9
外来収益	4,912,918,937	4,638,479,909	28.3	27.5
他会計負担金	607,396,000	521,869,000	3.5	3.1
その他医業収益	446,282,621	336,008,749	2.6	2.0
医業費用	16,436,066,392	16,170,453,152	94.7	95.7
給与費	7,039,232,015	6,483,027,323	40.6	38.4
材料費	5,637,237,815	5,511,132,984	32.5	32.6
経費	2,761,055,897	2,792,971,436	15.9	16.5
減価償却費	921,876,269	333,751,113	5.3	2.0
資産減耗費	38,487,241	1,015,011,325	0.2	6.0
研究研修費	38,177,155	34,558,971	0.2	0.2
医業損失	763,773,490	1,734,830,567	-	-
医業外収益	1,672,948,353	2,447,808,234	9.6	14.5
受取利息配当金	1,062,220	4,327,144	0.0	0.0
他会計補助金	520,000,000	1,280,000,000	3.0	7.6
国庫補助金	17,989,944	20,179,992	0.1	0.1
県補助金	22,978,000	4,933,000	0.1	0.0
他会計負担金	897,257,000	992,915,000	5.2	5.9
患者外給食収益	0	1,379,262	0.0	0.0
その他医業外収益	213,661,189	144,073,836	1.2	0.9
医業外費用	904,174,556	710,149,934	5.2	4.2
支払利息及び企業債取扱諸費	290,815,074	258,245,160	1.7	1.5
患者外給食費	0	1,551,819	0.0	0.0
雑損失	536,714,144	450,352,955	3.1	2.7
繰延勘定償却	76,645,338	0	0.4	0.0
当年度純利益	5,000,307	2,827,733	-	-

表4 貸借対照表

科目	金額		構成比率	
	21年度	20年度	21年度	20年度
	円	円	%	%
資産	22,843,528,444	20,612,974,127	100.00	100.00
固定資産	18,405,377,355	16,318,304,472	80.57	79.16
有形固定資産	18,327,504,355	16,253,751,472	80.23	78.85
無形固定資産	4,993,000	4,993,000	0.02	0.02
投資	72,880,000	59,560,000	0.32	0.29
流動資産	4,004,501,483	3,908,751,514	17.54	18.97
現金預金	1,176,287,797	1,187,075,914	5.15	5.76
未収金	2,626,569,828	2,602,265,001	11.50	12.63
貯蔵品	136,871,261	119,410,599	0.60	0.58
その他流動資産	0	0	0.00	0.00
本支店勘定(清水病院勘定)	64,772,597	0	0.28	0.00
繰延勘定	433,649,606	383,226,678	1.90	1.86
控除対象外消費税額	433,649,606	383,226,678	1.90	1.86
本支店勘定	0	2,691,463	0.00	0.01
清水病院勘定	0	2,691,463	0.00	0.01
負債及び資本	22,843,528,444	20,612,974,127	100.00	100.00
負債	3,764,878,783	2,525,742,092	16.48	12.25
固定負債	330,000,000	230,000,000	1.44	1.12
退職給与引当金	330,000,000	230,000,000	1.44	1.12
流動負債	3,434,878,783	2,264,334,334	15.04	10.98
未払金	3,384,035,287	2,220,007,531	14.81	10.77
未払費用	-	-	-	-
その他流動負債	50,843,496	44,326,803	0.22	0.22
本支店勘定	0	31,407,758	0.00	0.15
清水病院勘定	0	31,407,758	0.00	0.15
資本	19,078,649,661	18,087,232,035	83.52	87.75
資本金	17,607,650,587	17,015,543,268	77.08	82.55
自己資本金	7,556,932,768	7,334,932,768	33.08	35.58
借入資本金	10,050,717,819	9,680,610,500	44.00	46.96
剰余金	1,470,999,074	1,071,688,767	6.44	5.20
資本剰余金	926,327,908	532,017,908	4.06	2.58
利益剰余金	544,671,166	539,670,859	2.39	2.62

表5 年度別経営収支(平成17~21)

年度	収入		支出		損益	実質収支
	決算額	趨勢比	決算額	趨勢比		
	円	%	円	%	円	円
17	15,327,037,972	100.0	14,935,285,965	100.0	391,752,007	47,614,007
18	15,159,042,363	98.9	15,147,065,874	99.9	11,976,489	△298,023,511
19	15,616,435,498	101.9	15,614,057,824	103.0	2,377,674	△127,622,326
20	16,883,430,819	110.2	16,880,603,086	111.4	2,827,733	△1,277,172,267
21	17,345,241,255	113.2	17,340,240,948	116.1	5,000,307	△514,999,693

表6 経営分析緒値

分析項目			分析項目		
1. 総収支比率 (%)	100.1		10. 平均入院日数 (日)		
2. 経常収支比率 (%)	100.0		11. 薬品使用効率		
3. 医業収支比率 (%)	95.4		投薬 (%)		
4. 他会計繰入金比率 (%)	11.7		注射 (%)		
5. 職員給与比率 (%)	43.4		12. 診療収入に対する構成比率		
6. 一般病床利用率 (%)			投薬収入 (%)	2.3	
7. 外来入院患者比率 (%)	159.0		注射収入 (%)	3.3	
8. 1日平均患者数			検査収入 (%)	2.0	
入院 (人)	481		X線収入 (%)	0.7	
外来 (人)	1,150		13. 流動比率 (%)	116.6	
9. 患者1人1日当たり診療収入			14. 自己資本構成比率 (%)	39.5	
入院	55,244		15. 負債比率 (%)	153.0	
外来	17,587		16. 固定比率 (%)	203.9	

表7 固定資産明細書

資産の種類	年度当初の 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末 償却未済高
					当年度 増加額	当年度 減少額	累 計	
	円	円	円	円	円	円	円	円
土地	294,515,609	449,000,000	0	743,515,609	—	—	—	743,515,609
建築物	16,413,053,088	3,198,466,709	0	19,611,519,797	451,113,028	0	4,802,152,225	14,809,367,572
構築物	66,773,309	77,609,169	0	144,382,478	1,127,089	0	53,736,465	90,646,013
器械備品	6,790,680,713	290,104,740	779,634,525	6,301,150,928	469,495,716	682,560,299	3,642,954,915	2,658,196,013
車両	21,260,400	0	0	21,260,400	140,436	0	19,585,252	1,675,148
建設仮勘定	923,777,240	2,352,298,638	3,276,075,878	0	—	—	—	0
其他有形 固定資産	22,804,000	1,300,000	0	24,104,000	—	—	—	24,104,000
計	24,532,864,359	6,368,779,256	4,055,710,403	26,845,933,212	921,876,269	682,560,299	8,518,428,857	18,327,504,355

病院施設課

病院施設課の業務は、事業資産の取得、管理及び処分、施設及び設備の維持管理、物品の調達及び管理、病院の

防災及び消防計画に関する業務が主なものである。

1) 施設管理担当

今年度の経費の主なものは、光熱水費が約34,228万円であり、前年に比べ約374万円(1.1%)の微増加である。

また、業務委託は49件約28,123万円であり前年に比べ15.9%増加している。施設の増加による維持管理経費の増加によるものである。

修繕費は、大型修繕が8件で約2,029万円(前年度15件約6,553万円)、小額修繕が266件約4,764万円(前年度338件約5,449万円)であり、東館新築、西館改修が完了し、前年度より減少している。

大型修繕としては、昇降機の性能を維持するために経年劣化による部品交換等を前年に引き続き実施したものと、年1回の法定点検によるボイラー及び圧力容器の修繕で

ある。

また、新たに手術室H E P Aフィルター取替修繕を実施するとともに、熱源機器・電気設備機器の経年劣化による消耗備品の取替修繕を行った。

小額修繕は、前年に引き続き院内内装、建具、照明設備、電話設備、空調機・排水設備及び給水等の修理依頼件数が多く、施行理由としては経年劣化及び経常的消耗品の取替である。

病院内から排出される産業廃棄物は、全体で184.9万リットル(前年度164.4万リットル)で、増加している。

平成21年度 大型(設計・入札案件)外注修繕

修繕番号	修 繕 名	請 負 人	請負金額(円)
修 第 1 号	ボイラー及び圧力容器修繕	東 邦 動 力 工 業 (株)	2,940,000
修 第 2 号	東館蒸気発生器修繕	(株) 朝 日 工 業 社	2,100,000
修 第 3 号	昇降機等修繕	(株)日立ビルシステム中部支社	3,255,000
修 第 4 号	手術室H E P Aフィルター取替修繕	太 洋 テ ク ニ カ (株)	5,145,000
修 第 5 号	西館機械室温水ポンプ修繕	中 央 冷 熱 (株)	1,897,500
修 第 6 号	西館12階電気室真空遮断器部品取替修繕	日 本 電 設 工 業 (株)	1,312,500
修 第 7 号	上足洗医師住宅給湯器取替修繕	井 上 設 備 (株)	2,047,500
修 第 8 号	西館10階医局修繕	茶 山 建 設 工 業 (株)	1,596,000
8 件	合 計 金 額		20,293,500

平成21年度 小額（250万円以下）外注修繕

業種	設備	件数	金額比率%	業種	設備	件数	金額比率%
建築	医師住宅内装	8	1.8	空調	空調機(熱源)	14	21.6
	院内内装	47	50.0		計装機器	1	0.1
	建具(自動ドア含む)	17	18.0		配管関係	15	44.6
	屋上防水	1	2.1		ダクト関係	15	32.0
	院内サイン	3	1.7		医師住宅	1	0.8
	院内外構	5	9.3		その他	1	0.9
	木工事等	0	0.0				
	その他	7	17.1				
	件数 計	88	100.0		件数 計	47	100.0
	金額(円)	19,468,382	金額(円)	8,450,085			
電気	電気設備改修	3	9.7	衛生	排水設備	5	7.2
	コンセント	13	10.6		器具取替	12	34.8
	照明設備	15	25.1		給水、湯、ガス	7	27.0
	N s コール等	9	16.4		防災関係	3	24.6
	電話設備	34	7.6		医師住宅	3	6.4
	防災関係	2	7.3		その他	0	0.0
	TV、アンテナ	6	12.7		件数 計	30	100.0
	インターホン	4	2.7	金額(円)	3,463,215		
	その他	8	7.9	医療ガス	7件		
	件数 計	94	100.0	金額(円)	2,496,900		
	金額(円)	13,765,080		搬送機	0件		
				金額(円)	0		
				昇降機	0件		
			金額(円)	0			
			総件数	266件			
			総金額(円)	47,643,662			

平成21年度 光熱水費

種類	金額(円)
電気	164,680,532
水道	34,101,600
ガス	143,505,460
合計	342,287,592

平成21年度 委託料

委託種類	件数	金額(円)
設備機器保守点検業務	35件	199,165,550
清掃等保清業務	9件	77,765,004
駐車場管理業務	2件	1,419,600
その他業務委託	14件	2,885,190
合計	49件	281,235,344

平成21年度 産業廃棄物処理実績(数量)

種類	廃棄物の内容	処理量(リットル)
感染性	人工腎臓用血液回路、点滴セット、ビニルチューブ、プラスチック製品等	1,664,520
	注射針、注射器、ビニルチューブなど	103,730
	小計	1,768,250
非感染性	廃培地、廃血液、廃血清プラスチック容器等	60,510
	アンプル、ガラス小瓶、プラスチック製品等	14,200
	キシロール製品等	900
	小計	75,610
安定	金属性ベット、ギプス、金属、陶磁器屑、石膏	5,767
小計		1,849,627

2) 物品管理担当

病院が医療サービスを提供するために必要なあらゆる物品を調達し、各部門の業務を支援する担当(係)である。

物品管理担当では次のような業務を担当しています。

- 1 医療機器の購入契約、支払事務
- 2 固定資産台帳の作成、除却事務
- 3 薬品の購入契約、支払事務
- 4 診療材料の購入契約、供給及び支払事務

- 5 医療用備品及び庁用器具備品の購入契約、支払事務
- 6 文房具、雑貨等の消耗品並びに印刷物の購入契約、供給及び支払事務
- 7 医療器械器具等の修理及び保守契約事務
- 8 在宅医療に関する機器の賃借契約、支払事務
- 9 不用品の売却・処分
- 10 その他の物品等の調達・契約事務

以上の主な業務の情報収集と、物品を安価で購入して効率のよい病院運営に寄与することに心掛けている。

平成21年度 器械及び器具購入の概況(1件1,000万円以上のもの)

器械名	製造会社・規格	部門名
透析液供給システム	東レ・メディカル(株) TC-20HI ほか	腎臓内科(透析室)
超音波診断装置	GE Voluson E8	産婦人科
膀胱・腎盂内視鏡システム	オリンパス 腹腔・胸腔ビデオスコープ LTF-VH ほか	泌尿器科(手術室)
ジェットウォッシャー	ペリメド WD290	看護科(中央材料室)
耳鼻咽喉手術内視鏡情報システム	オリンパス VISERA PRO	耳鼻いんこう科(手術室)

平成21年度 薬品購入額上位10品目

品名	数量
リュープリンSR注射用キット 11.25mg	692
リツキサン注10mg/ml 500mg	236
グリベック錠 100mg PTP120T	15,120
レミケード点滴静注用100	422
リピトール錠10mg PTP	271,600
エボジン注シリンジ3000 0.5ml	8,540
照射赤血球濃厚液-LR「日赤」A型2単位 400ml由来1本	1,690
ネオーラル50mgカプセル	59,400
照射濃厚血小板「日赤」A型10単位 約200ml 1本	364
プロプレス錠 4mg	380,800

薬品契約総品目 2,809品目(薬品1,648品 試薬1,161品)
(薬品費執行額 3,516,600千円の10.28%)

平成21年度 診療材料購入額上位10品目

品名	数量
プロモート RF36(埋込型除細動器)	15
イントラフォーカスViewIT Yコネ付	417
リプライ DR(植込型ペースメーカー)	47
キャピオックス回路(RX)抗血栓性あり	153
HA-TCPファイバーメタルテーパーステム 9mm~16mm	46
PVCフリーテルフュージョン輸液セット 20滴	165,950
植込型ペースメーカー フィデリティー Dr	36
カーペンターエドワーズ牛心のう膜生体弁マ グナ21mm	24
ホームAPDシステムゆめセット	3,720
液体酸素 1kg	218,320

診療材料契約総品目 6,116品目
(診療材料費執行額 2,240,492千円の13.62%)

治 験 管 理 室

治験管理室は病院長直轄の組織であり、治験受託業務の窓口としての治験事務局員（治験審査委員会（IRB）の運営・支援を行う IRB 事務局員を兼ねる）と、また被験者と治験責任（分担）医師及び治験依頼者であるメーカーの三者間をコーディネートし、治験の円滑な推進支援を図る治験コーディネーター（CRC）より構成されている。

平成21年度は4件の新規治験を受託し、2件については実施後終了、他の2件は次年度に継続して実施中である。しかし終了した2件は結果的に被験者登録に至らず治験期間の終了を迎え、当院における実施率を大きく下げる結果となってしまった。原因としては除外基準への抵触、被験者への不利益、プロトコルが煩雑等、多くの理由が考えられたが、これらのことは今後治験管理室による事前調査の徹底、治験審査委員会審議時の情報提供等の対策で解消できると考える。規制当局が治験中核拠点病院に求めている実施率は80%以上であり、当院としても実施率の向上は次の治験依頼に繋げる為にも意識していかなければならない。

昨年度から国際共同治験に対応すべくインフラ整備を進めてきたが、図らずも受託4件中3件が国際共同治験

であり、早速成果として現れた形となった。

院内 CRC は専任者が1名のままであり、業務拡大には限度がある。これを解消する手段として治験施設支援機関（SMO）による外部 CRC の導入を提議し、導入全般については承認された。この事により治験受託数を増やす体制は整った。

治験受託の入り口である治験実施可能性調査は、ファルマバレーセンター（PVC）経由2件、日本医師会経由5件、依頼者の直接依頼2件と全般的に少なく、特にPVC経由の減少が顕著である。PVCにはさらなる健闘を願いたい。当治験室としても治験紹介元を別に求めることも検討せざるを得ない状況にある。また、依頼者直接依頼の増加には、先程の実施率の実績が重要となってくる事が再認識された。

治験以外では、PVCが推進する静岡県がん診療連携拠点病院10医療機関を中心とした多施設共同臨床試験において、当院事務局として試験運営事務局との連絡、院内における調整等、試験推進の為に積極的に関与した結果、次年度初旬にはスタートできる予定となった。

（宮下 正）

実 績

年 度	治 験		製造販売後調査 契約件数	
	契約件数	継続件数	医 薬 品	機 器
平成19年度	1	1	16	4
平成20年度	0	2	14	1
平成21年度	4	0	41	3

病院運営機関・各種業務委員会

①オープンシステム運営協議会

目的 オープンシステムの運営上生じた諸問題を解決するため市医師会・歯科医師会登録医と協議し、円滑な運営を図る。

委員長 島本光臣

副委員長 大石達夫、宮城達郎

委員 (病院側) 滝澤明憲、平田健雄、宮下 正、佐々木美晴、千原幸司、小野寺知哉 協 昌子、山本真志、長谷川和樹、岡田美智子、池川 茂 (登録医側) 岡慎一郎、袴田光治、名波登雄、北村 明、表 信吾、石川靖彦、上田 憲、野々村光栄、近藤 誠 (保健所) 村上隼夫

幹事 内田隆夫、高橋 啓、日下部幸伸

開催記録

平成21年9月25日(金)

議題

(1) 稼働状況報告について

事務局から、入院患者数において前年度に比べ28人、9.2%の減少、検査依頼患者数においては前年度に比べ122人、12.4%減という状況であったこと、ベッドの稼働率においては52.1%で、前年度稼働率53.9%より1.8ポイント下がっていたこと。オープン患者の平均在院日数は前年とほぼ同水準であったことから、入院患者数の減がそのまま稼働率に反映された状況であったことなど、平成20年度の稼働状況について報告がされた。また、登録医による手術室や検査機器の利用は、手術による利用90件、カテーテル等の検査利用114件であったことも併せて報告された。

(2) 委員長より、オープンシステムの活用促進のための方策等について委員の意見を伺った。

電子カルテの導入により、普段電子カルテになじみのない先生方には使いにくいかも知れない。

今後は、医療秘書等を活用して入力をしていくのが医師としては良いと思うが、なかなか進展していない。

(3) 登録医からの要望等

- ・RI 検査の読影結果報告がない。今後、付けることで考える。
- ・MR の造影を依頼すると、脳外科を受診させるように言われる。これではオープンの意味がない。検査の依頼が簡単に済むようにしてほしい。
- ・病診連携について、うまく進んでいる科と稼働できていないものがある。今後の課題と、取り組み

をともに検討していきたい。

②栄養サポートチーム

目的 入院患者の栄養状態の問題点抽出と評価を行い、改善と早期快復に向け活動していくこと。

リーダー 千原幸司(呼吸器外科)

サブリーダー 高橋好朗(消化器科)、久保田美保子(栄養科)

スタッフ 前田賢人(外科)、清水言行(脳神経外科)、佐野武尚(呼吸器科)、福島裕子(看護科)、高塚敏子(看護科)、永井一美(看護科)、黒瀬かよ子(看護科)、岩崎千景(看護科)、伊藤弘(薬剤科)、青木文乃(検査科)、篠原宏幸(リハビリテーション技術科)、勝山智子(地域医療支援室)、三浦和宏(医事課)

幹事 金原葉子(栄養科)

開催記録

平成21年4月27日(月)

1. NST 回診報告
2. 今年度の活動計画
3. 医療安全管理委員会 F 部会からの検討事項について

平成21年5月25日(月)

1. NST 回診報告
2. 今年度の活動計画

平成21年6月22日(月)

1. NST 回診報告
2. 経腸栄養剤の取扱いについて
3. NST 講演会について

平成21年7月27日(月)

1. NST 回診報告
2. NST 講演会について

平成21年8月24日(月)

1. NST 回診報告
2. 経腸栄養剤について

平成21年9月28日(月)

1. NST 回診報告
2. 経管栄養開始プランについて

平成21年10月26日(月)

1. NST 回診報告
2. NST 講演会の準備

平成21年11月30日(月)

1. NST 回診報告
2. 経腸栄養剤について

平成21年12月21日(月)

1. NST 回診報告
2. NST 講演会の報告

3. 経腸栄養剤(食品扱い)の採用について
平成22年1月25日(月)

1. NST 回診報告
2. 経腸栄養剤(食品扱い)について

平成22年2月22日(月)

1. NST 回診報告
2. 経腸栄養剤(食品扱い)について
3. 栄養サポートチーム加算について

平成22年3月15日(月)

1. NST 回診について(年間報告)
2. 栄養サポートチーム加算について

今年度は、昨年から開始した検査スクリーニングによる患者抽出方法を継続し実施した。依頼件数は16件で昨年度より減少したが、入院数日後に介入し早期退院に繋がった症例もあった。依頼方法について、スクリーニングシートや栄養管理計画書を活用してもらえよう NST ニュースのなかで院内スタッフへ周知した。来年度は検査スクリーニング対象患者に対して、NST 側から積極的に介入できるような体制をつくっていききたい。

11月には、院外講師を招いた NST 講演会を開催、46名が出席した。「NST 活動とがん診療における栄養管理」をテーマにした講義から、今後の活動へのヒントや新たな知識の習得に役立った。

今年度、当院の DPC 移行にともない、当委員会では経腸栄養剤の取扱いについて検討を重ねた。経管栄養において、従来の医薬品に加え、食品扱いの経腸栄養剤を選択肢に加えるために新規採用品を選定し、病態別製品を含む数種を決定した。これらの取扱いやオーダ方法等については、今後も検討し必要に応じて見直していききたい。

2005年に開始した NST ニュースはNo.25まで発刊した。院内スタッフの栄養管理に対する知識向上に役立てるようひき続き定期的に情報発信していきたい。

なお、平成22年度診療報酬改定はチーム医療を重視して「栄養サポートチーム加算200点」が新設される予定である。この加算の条件取得に向けて、院内 NST 活動を尚一層充実させていく必要がある(千原幸司)。

③医療安全管理委員会

目的 医療事故防止、医事紛争防止を中心としたリスクマネジメントの確立を図る。

委員長 滝澤明憲

副委員長 佐々木美晴

委員 島本光臣 岡田美智子 赤池正久 石黒裕子
前田賢人 中井真尚 田中俊夫 山田孝 牧田
まり子 池ヶ谷幸恵 塚本ひとみ 太田明子
青山治子 小林真澄 石向田鶴男 外輝雄

佐藤景二 興津英和 清水正見 内田隆夫
大塚倍恵 向島光太郎

開催記録

平成21年4月14日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) その他
 - ・レポート集計報告
 - ・医療安全全国共同行動への参加について

平成21年5月12日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) 医療安全管理マニュアルの改訂
- (3) 医療安全全国共同行動について
- (4) その他
 - ・レポート集計報告

平成21年6月9日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) 医療安全管理マニュアルの改訂
- (3) 医療安全全国共同行動 進捗状況報告
- (4) その他
 - ・レポート集計報告

平成21年7月14日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) 医療安全管理マニュアルの改訂
- (3) その他
 - ・レポート集計報告

平成21年9月8日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) その他
 - ・レポート集計報告
 - ・医療安全管理講演会(9/28開催「医療メデイエーション」早稲田大学大学院法務研究科教授 和田任孝 先生)

平成21年10月13日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) その他
 - ・レポート集計報告
 - ・医療安全管理勉強会(10/22開催「院内救急体制」)

平成21年11月13日(金)

- (1) 作業部会報告
- (2) 医療安全全国共同行動 進捗状況
- (3) その他
 - ・レポート集計報告
 - ・医療倫理講演会(11/26開催「病院における医療事故防止と紛争対策」当院顧問弁護士 リョマホ法律事務所 弁護士 岡田隆志 先生)

平成21年12月21日(月)

- (1) 作業部会報告
- (2) 医療安全全国共同行動 進捗状況
- (3) その他
 - ・レポート集計報告

平成22年1月12日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) その他
 - ・レポート集計報告

平成22年2月16日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) 医療安全全国共同行動 進捗状況
- (3) その他
 - ・レポート集計報告
 - ・医療安全管理研究会(3/3開催)

平成22年3月16日(火)

- (1) 作業部会報告
- (2) その他
 - ・レポート集計報告

総括コメント

1. 医療安全全国共同行動への参加

平成21年4月より、医療安全全国共同行動の全8行動目標に参加登録し、「医療の質・安全の効用を目指す取り組みの普及」、「医療の質・安全向上の取り組み成果の可視化」、「医療に対する患者・市民の信頼の向上」を目的に、各作業部会、院内感染対策委員会および、医療安全管理室による取り組みを開始した。

2. 各作業部会の取り組み

A部会(人工呼吸器、窒息、酸素吸入、誤嚥、機器管理)

- ・カフ計使用時の三方活栓の使用を禁止
- ・「医療機器使用中の操作が分からない、不安を感じる場合」のフローシート作成
- ・閉鎖式吸引法の導入
- ・除細動器(DC)およびAED配置部署一覧を最終改訂
- ・指差し呼称ポスターの改訂

B部会(患者誤認)

- ・患者誤認防止のための院内放送の実施(7月、12月にそれぞれ1週間)
- ・院内患者専用TV用に誤認防止放送を作成し、放送
- ・救急外来における患者誤認防止のための患者用名札を作成

C部会(注射)

- ・混ぜてはいけない注射薬のリストアップと周知
- ・院内標準インスリンスライティングスケールの作成

- ・危険薬のリストアップと周知(G部会と合同)

D部会(手術、検査)

- ・滅菌されたライン入りガーゼ、ガーゼカウント機の導入

E部会(転倒、転落、入浴)

- ・転倒転落予防勉強会の開催
- ・転倒転落時対応マニュアル、アセスメントスコアシート、看護計画の改訂
- ・転倒転落時チェックシート、転倒転落時対応フローチャートの作成

F部会(チューブ・ドレーン)

- ・「胃管挿入後未確認」の札の作成
- ・チューブ誤挿入のハイリスク患者の識別
- ・「緊急やむを得ない行動制限に関する説明・同意書」を1種類に院内統一
- ・「身体抑制説明・同意書」の改訂
- ・栄養チューブに関する病棟アンケートの実施

G部会(与薬・麻薬)

- ・処方確認画面に薬剤表示がされないようシステムを修正
- ・インスリン製剤の種類と作成時間表、経口血糖降下剤一覧表を作成
- ・処方オーダーコメント入力について医師へ周知
- ・経口用液剤へのカラーシリンジの導入
- ・麻薬、抗がん剤等の薬品名の前に薬剤の種類を表示を追加
- ・薬包紙における錠数表示を「T」から「錠」へ変更
- ・患者が内服する麻薬薬剤リストの作成

H部会(その他)

- ・無断離院防止のためのポスター作製、入院案内への追記
- ・配膳時の毛髪混入防止のため、配膳者のエプロン、キャップ着用を決定

3. 「血栓塞栓症診療マニュアル」の作成

血栓塞栓症の診断、治療基準の作成のため、「抗凝固療法ガイドライン」および「静脈血栓塞栓症予防マニュアル」を改訂し、「血栓塞栓症診療マニュアル」を作成した。

医療安全管理委員会では、各作業部会でインシデントレポートを検討し、対策を実施している。しかし、依然としてインシデントレポート数は増加傾向にあり、また、同様の事例が繰り返し報告されてもいる。

本年度より、医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”の全行動目標に参加登録した。各行動目標に引き続き取り組み、さらなる医療安全を図ってきたい。
(滝澤明憲)

④治験審査委員会

目的 当院で治験（製造販売後臨床試験を含む）を実施する際に、治験計画及び治験中の安全性と倫理性、科学性を審査する。

また、製造販売後調査（使用成績・特定使用成績調査、副作用感染症報告・・・医療機器も含む）、及び新規院内製剤等の実施についても検討を行う。

委員長 宮下 正

副委員長 石黒裕子、佐藤景二

委員 山田 浩、清水敏男、土屋仁美、佐々木美晴、小野寺知哉、岩井一也、岡田美智子、内田隆夫、望月茂昭、岡本浩明、吉田佳枝、秋山礼子

幹事 山本紀夫、後藤 彰、勝山 徹、鈴木芳治、小山輝乃

開催記録

開催日	新規審議	継続審議 (安全性報告等)	製造販売後 調査関連
① 4月9日			3件
② 6月11日	治験3件		8件
③ 7月9日		4件	8件
④ 8月13日		8件	5件
⑤ 10月8日		9件	5件
⑥ 11月12日		10件	3件
⑦ 12月10日	治験1件	9件	5件
⑧ 2月4日	治験1件 院内製剤1件	12件	4件
⑨ 3月11日		5件	7件

総括コメント

5件の新規治験申請がされ、審議の結果全てについて承認された。残念ながらその内1件は契約に至らなかったが、残る4件については2件が実施後終了、他の2件は次年度に継続して実施中である。ただ、実施後終了した2件については結果的に被験者登録まで至らず治験期間の終了を迎えた。原因としてプロトコルが煩雑であったことや被験者の不利益等が考えられたが、今後の新規審議時に検討すべき点としての課題（教訓）となった。

院内CRC不足を解消する手段として治験施設支援機関（SMO）による外部CRCの導入も検討され、導入全般については承認された。今後はその都度導入の必要性を審議していくこととなる。

治験実施可能性調査はPVC経由で2件、日本医師会経由で5件、依頼者直接依頼が2件と例年に比して少なく、その内の2件につき実施可能と回答した。この2件は前述の新規治験申請に結びつく結果となった。

（宮下 正）

⑤病院運営会議

目的 病院運営全般についての重要事項の意思決定及び連絡調整を行う。

構成 島本光臣、滝澤明憲、平田健雄、宮下 正、佐々木美晴、千原幸司、小野寺知哉、脇 昌子、岡田美智子、牧田まり子、石黒裕子、赤池正久、池川茂

幹事 清水正見、斎藤隆之

開催日 毎月第4火曜日に定例開催した。

⑥診療科長会議

目的 病院運営会議での意思決定事項の伝達及び医療上の必要事項について協議する。

構成 島本光臣、滝澤明憲、平田健雄、宮下 正、佐々木美晴、千原幸司、小野寺知哉、脇 昌子、前田明則、松本芳博、石橋孝文、小柳津竜樹、田中俊夫、村田耕一郎、鶴田 悟、東 卓司、五十嵐健康、佐野倫生、深澤誠司、横島孝至、山崎文郎、中井真尚、富田浩一、水野薫子、廣瀬美央、池上 聡、清水言行、山本真志、濱村啓介、長谷川和樹、宮本日出雄、加藤茂久、森木利昭、前田賢人、野口哲哉、佐野武尚、綾部裕子、竹花卓夫、高橋好朗、岩井一也、米沢 圭、米澤真澄、松田宏幸、望月敏弘

幹事他 池川 茂、清水正見、川口明秀、木村 昇、内田隆夫、岡田美智子、石黒裕子、赤池正久、高橋 啓、斎藤隆之

開催日 運営会議以後2回日の金曜日に定例開催した。

⑦病院連絡会

目的 病院運営会議での意思決定事項の伝達等を行い、病院の円滑な運営を図る。

構成 島本光臣、滝澤明憲、平田健雄、宮下 正、岡田美智子、牧田まり子、遠藤朱美、野中教世、大塚倍恵、福島裕子、前田裕子、桐山まき子、榎本康世、永野千鶴、直里佳子、吉田佳枝、池谷綾子、青島由里子、塚本ひとみ、池ヶ谷幸恵、井上暢子、斎藤紀子、太田明子、青山治子、鈴木公子、市川昭美、石黒裕子、勝山 徹、中川雅之、金森久美子、赤池正久、丹羽潤児、石向田鶴男、望月義弘、近藤 仁、荒井知子、秋山礼子、鈴木吉明、佐藤景二、久保田美保子、中野雅代、池ヶ谷博英、齊藤克己、池川 茂、清水正見、川口明秀、渡辺幹夫、松田光広、多々羅一美、木村 昇、高橋俊次、内田隆夫、川口孝次、川口則行、向島光太郎、高橋 啓、日下部幸伸

幹事 斎藤隆之

開催日 運営会議以後2回目の金曜日に定例開催した。

⑧医療倫理審査委員会

目的 静岡市立静岡病院における医療の倫理性と患者の人権保護に関する基本的事項を審議し、病院職員の倫理意識の向上に資することを目的とする。

委員長 滝澤明憲

副委員長 宮下 正

委員 佐々木美晴、清水言行、東 卓司、水野薫子、岡田美智子、鈴木公子、吉川直子、石黒裕子、池川 茂、佐藤景二、望月茂昭

外部委員 松田 純、西条光洋、村上隼夫

幹事 櫻井もえ美

開催記録

回	倫理委員会開催日	受付番号	案 件	科
1	5月21日	1	本邦における心血管インターベンションの実態調査 (J-PCI)	循環器内科
		2	心房細動例における心原性塞栓症予防のためのワルファリン療法の実態と至適PT-INR治療域の確立に関する多施設共同研究 (J-RHYTHM Registry)	循環器内科
2	7月24日	3	厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「褐色細胞腫の実態調査と診療指針の作成」研究班全国疫学調査	循環器内科
		4	高齢者高血圧におけるAⅡ受容体拮抗薬増量とカルジウム拮抗薬併用による心血管系イベント抑制効果の比較検討	内分泌・代謝内科
		5	先天鼻涙管閉塞に対する術後合併症の検討	眼科
3	11月2日	6	「StageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験および「StageⅡ大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発 high-risk 群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究」	外科
		7	日本における経皮的冠動脈インターベンション (PCI) および冠動脈バイパス手術 (CABG) のレジストリー (コホートⅡ)	循環器内科 / 心臓血管外科
		8	大腸がんKRAS遺伝子変異率に関する観察研究	外科
4	1月22日	9	泌尿器科領域における周術期感染症阻止薬プロトコルの検討	泌尿器科
		10	進行期非小細胞肺癌に対するベメトレキセド+カルボプラチン併用療法後のメンテナンス療法としてのベメトレキセドとドセタキセルの無作為化第Ⅱ相比較試験	呼吸器内科
		11	Fast VT 停止における抗頻拍パージングの有用性ATP during charging 機能を用いた日本での実態調査 (The SATISFACTION trial)	循環器内科
		12	実地臨床におけるエベロリムス溶出性ステント (XIENCE V™) とシロリムス溶出性ステント (CYPHER™) の有効性及び安全性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験 (RESET)	循環器内科
		13	植込型除細動器植込み患者の在宅モニター多施設共同前向き (J-Home ICD) 研究	循環器内科
		14	ラフチジンの有害事象軽減によるS-1胃癌術後補助化学療法完遂向上に関するランダム化比較試験	外科

5	3月12日	15	冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験 (REAL-CAD)	循環器内科
		16	StageⅢb 大腸癌に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1/Oxaliplatin療法のランダム化比較第Ⅲ相試験	外科
		17	日本乳癌学会 乳癌登録	外科
		18	成人上気道感染症に対する抗菌薬に対する有用性の検討に関する臨床研究	呼吸器内科

【臨床研究倫理セミナー】

① 3月10日 (水)

出席者：医師46名、看護師17名、コメディカル6名、計69名

② 3月11日 (木)

出席者：医師28名、看護師32名、コメディカル6名、計66名

統括コメント

平成21年度は委員会を5回開催し、18件の案件の審議を行った。

3月には「臨床研究倫理セミナー」を開催し、多数の医師がセミナーを受講した。以降の臨床研究の申請においては、実施者、実施分担者ともにセミナーの受講が必要となるよう、医学系研究マニュアルを改訂した。

また、医学系研究マニュアルに基づき、医学系研究途中経過報告書および臨床研究倫理自己点検報告書の提出を研究実施者の医師に提出を求めた。(滝澤明憲)

⑨学術臨床研修委員会

目的 医療及び看護技術向上のため、職員の教育、研修、研究に関する事項、年報編集に関する事項並びに、臨床研修の教育・研修に関する事項を審議する。

委員長 平田 健雄

副委員長 千原 幸司

委員 小野寺知哉、石橋孝文、深澤誠司、松本芳博、前田賢人、濱村啓介、野中教世、井上暢子、鈴木公子、花村多美子、清野桂子、内田秀子、齋藤克己、中西一陽

幹事 鈴木 暁

開催記録

平成21年6月16日 (火)

- (1) 病院フェア2009の開催について
- (2) 平成20年度病院年報の発行について
- (3) 救急セミナー企画について
- (4) 市民公開講座企画について
- (5) 学術集談会企画について

(6) 臨床指標の更新について

⑩保険診療対策委員会

目的 診療報酬の請求、査定に関する事項を審議する。

委員長 平田健雄副病院長

副委員長 山崎文郎心臓血管外科長

委員 村田循環器内科長 望月市民健診センター科長

原脳神経外科医長 前田内科長 遠藤病棟看護

科長 直里看護師長 秋山検査技術科技師長

医事課星野

幹事 医事課川口統括

開催記録

平成21年6月30日

(議題)

(1) 査定となりやすい事例について説明

(2) 査定対策について

① 査定率について

② DPC導入に向けて

③ 病名の記載漏れが多い

オブザーバー 佐藤臨床工学科長 ニチイ学館 杉山

レセプト担当 海野 井川

平成22年3月15日

1. 査定率について

2. DPC返戻、査定の状況

3. その他

症状詳記について

薬効上適用量を超えた場合

禁忌病名 禁忌薬剤

病名入力について

オブザーバー ニチイ学館 杉山

レセプト担当 海野 井川

⑫衛生委員会

目的 労使が互いに協力し、労働条件の改善等通じて
職場における職員の安全と健康を確保するための
審議をする。

委員長 池川 茂

副委員長 清水正見

委員 前田明則、岡田美智子、石黒裕子、赤池正久、

鈴木貴子、望月雅貴、関しま子、乙丸 亨、

岩田和彦

衛生管理者 遠藤朱美、永野千鶴、望月一人

産業医 望月敏弘

作業主任者 多々羅一美

衛生推進者 中川義明

幹事 石上美恵子

開催記録

第1回 4月27日(月)

平成21年度衛生委員会改選名簿について

平成20年度公務災害発生状況について

特別延長時間外実績(3月分)

院内巡視(西3階)結果について

その他

第2回 5月25日(月)

特別延長時間外実績(4月分)

院内巡視(西4階・西2階→耳鼻咽喉科)

その他

第3回 6月22日(月)

特別延長時間外実績(5月分)

院内巡視(西4階・西2階→耳鼻咽喉科)結果について

院内巡視(西6階)

その他

第4回 7月27日(月)

特別延長時間外実績(6月分)

平成20年度有給休暇使用実績について

院内巡視(西6階)結果について

院内巡視(西7階)

その他

第5回 8月24日(月)

特別延長時間外実績(7月分)

院内巡視(西7階)結果について

院内巡視(西8階)

その他

第6回 9月28日(月)

特別延長時間外実績(8月分)

院内巡視(西8階)結果について

院内巡視(西9階)

その他

第7回 10月26日(月)

特別延長時間外実績(9月分)

平成21年度 夏季休暇取得状況について

院内巡視(西9階)結果について

院内巡視(西10階)

その他

第8回 11月24日(月)

特別延長時間外実績(10月分)

院内巡視(西10階)結果について

院内巡視(北2階)

その他

第9回 12月28日(月)

特別延長時間外実績(11月分)

院内巡視(北2階)結果について

院内巡視(東11階)

その他

- 第10回 1月25日(月)
 特別延長時間外実績(12月分)
 院内巡視(東11階)結果について
 院内巡視(東10階)
 その他
- 第11回 2月22日(月)
 特別延長時間外実績(1月分)
 院内巡視(東10階)結果について
 院内巡視(東9階)
 その他
- 第12回 3月23日(火)
 特別延長時間外実績(2月分)
 院内巡視(東9階)結果について
 院内巡視(東8階)
 その他

総括コメント

職員の安全と心の健康を保持するため長時間勤務職員をリストアップして、時間外労働時間が一定の基準を上回った職員に対し、面接指導を行った。
 今後も、時間外勤務の状況把握及び個別面談に重点を置きたい。

⑬電算委員会

目的 病院事業の電算化システムについて、検討、審議、決定する。
 委員長 佐々木美晴
 副委員長 清水言行
 委員 千原幸司、小野寺知哉、脇 昌子、鶴田 悟、牧田まり子、野中教世、市川昭美、中川雅之、塚本剛生、伊藤 弘、鈴木吉明、望月義弘、興津英和、久保田美保子、青山典正、岡本浩明、高橋和子、鈴木 暁、望月茂昭
 幹事 櫻井もえ美

開催記録

- 平成22年12月14日(月)
 議題 1. 麻酔手当計算のためのID付与
 2. 復旧後マニュアルについて

統括コメント

平成20年10月に電子カルテに移行し、小さな問題はあ
 るものの診療に重大な障害を来すことなくシステムは稼動している。平成21年6月に行った放射線画像のフィルムレス化も特に問題なく移行できた。他院からのCD-R画像もシステムに取り込むようにとの要望もあるがまだ実現はできていない。電子カルテ導入準備の時からそうであったように、今年度も電算システム部会として、

コアメンバーでの検討会を毎月行った。電算委員会としての多人数の招集はなるべく少なくし、しかも短時間で済むように、電算委員会はコアメンバーで検討した内容の承認を得る場にした。今年度の主な検討課題は、①輸血システム導入、②化学療法システム導入、③物流システム導入などであった。一部のシステムは電算化するにあたり困難な課題があり導入が遅れている。

(佐々木美晴)

⑭薬剤委員会

目的 当院で使用する医薬品の選定、管理および適正使用について審議する。
 委員長 宮下 正
 副委員長 石黒裕子
 委員 平田健雄、佐々木美晴、小野寺知哉、岩井一也、横島孝至、清水正見、川口明秀、池ヶ谷幸恵、斉藤紀子、岡本浩明
 幹事 勝山徹、金森久美子、山本紀夫、伊藤弘、近藤弘康、(長島健一：DPC担当)

開催記録

開催日	臨時購入 (品目数)	新規採用 (品目数)	院外処方専用 (品目数)	中止 (品目数)
①平成21年4月9日	5	13	2	10
②平成21年6月11日	3	12 後発品 30		7 先発品 30
③平成21年8月13日	9	17	1	8
④平成21年10月8日	3	6	1	5
⑤平成21年12月10日	3	17	1	10
⑥平成22年2月4日	9	12	2	18

総括コメント

<DPC対策として>
 抗がん剤、抗生剤、造影剤の各部門担当者より、後発品への変更が検討され選定内容・選定基準等が報告された後、見積価格を考慮の上、後発品への変更を行った。また、その他、購入金額上位順23品目についても後発品を含めた変更への可否を検討し、薬剤が選定された。
 <感染対策に関して>
 院内感染対策委員会より、抗生剤の見直し案が提示され、各科の意見を収集後8品目の採用と7品目の中止を決定した。
 <院外処方専用薬の取り扱いについて>
 緊急を要する場合は薬剤委員会委員長の了承で対応できるものとした。院外麻薬処方箋の発行については、応需薬局が限られており今後の検討課題である。
 <その他>
 同種同効薬剤の見直しを行い、降圧剤を整理し3品目を、消化器用剤の1品目を中止した。また、院外処方専

用薬マスターの2品目を削除した。

臨床試用医薬品の使用は、原則として許可しないことを決定した。(宮下 正)

⑮物品調達委員会

目的 病院が購入し使用する全ての物品(医薬品、診療材料、高額医療機器等)の調達に関する基本事項及び病院で使用する診療材料等の採用、廃止に関する事項を審議し、物品の適正かつ効率的な購入と管理を図る。

委員長 池川 茂

副委員長 川口明秀

委員 小野寺知哉、高橋好朗、長谷川和樹、清水言行、佐野倫生、池ヶ谷幸恵、青山治子、塚本ひとみ、吉井葉末、恒川典子、小泉健二、荒井知子、佐藤景二

幹事 松田光広、岡本浩明、青山典正、近藤弘康、榊原靖教

開催記録

平成21年5月28日(木)

- 1 スロンバスターⅢSLほか66品目の採用と34品目の採用中止を決定した。
- 2 新規に購入する診療材料は納入価の引き下げに努める。

平成21年7月29日(水)

- 1 C-CHIP NI改良ノイパウェルほか19品目の採用と4品目の採用中止を決定した。
- 2 新規に購入する診療材料は納入価の引き下げに努める。

平成21年9月30日(水)

- 1 リモイスクレンズ・ハンディほか72品目の採用と11品目の採用中止を決定した。
- 2 新規に購入する診療材料は納入価の引き下げに努める。

平成21年11月30日(月)

- 1 ネスブロンケーブルシステム針無ほか28品目の採用と1品目の採用中止を決定した。
- 2 新規に購入する診療材料は納入価の引き下げに努める。

平成22年2月25日(木)

- 1 タケトラ綿棒ほか97品目の採用と8品目の採用中止を決定した。
- 2 平成22年度購入予定の薬品単価契約の実施及び見積参加者選定の審議。
- 3 平成22年度購入予定の診療材料単価契約の実施及び見積参加者選定の審議。

総括コメント

当委員会関連の平成21年度の主な支出として、薬品費34億9,029万円、診療材料費22億4,049万円、医療機器購入費3億460万円の支出をした。

医療機器の購入については、市の中核病院として、また、高度医療を担う病院として、医療技術の進歩に遅れをとらないよう医療機器等の整備充実を図っており、常に予算の効率的運用を念頭におきながら、適正かつ合理的で、できる限り安価に機器購入を行うよう努めている。

なお、購入後の機器の効率的な稼働が病院経営にとって重要であり、職員個々の医療機器を含めた物品への管理責任と原価意識をより一層培っていきたい。

また、病院会計の支出で大きな割合を占めている薬品費及び診療材料費については、清水病院と一体となって価格交渉を実施し、予算の効率的な執行と経費削減に病院全体で努めていく。(池川 茂)

⑯臨床検査業務委員会

目的 臨床検査業務に関する諸問題について審議する。

委員長 森木利昭

副委員長 荒井知子

委員 平田健雄、脇 昌子、小野寺知哉、山崎文郎、石橋孝文、田中俊夫、竹花卓夫、太田明子、市川昭美、渡辺林子、鈴木芳治、赤池正久、石上美恵子、川口明秀、川口孝次、秋山礼子

幹事 鈴木吉明

開催記録

平成21年6月25日(木)

1. 平成20年度統計報告
2. 新GFR推算式による推算GFR値の報告について
3. 新規項目トロポニンI(定量)とBNPの時間外検査の実施について
4. 各部署における業務報告
 - (1) 中央分析室
 - ①ネットワーク障害報告
 - ②24時間クレアチニンクリアランスのオーダー方法
 - ③外注検査報告書の廃止について
 - (2) 生理検査室
 - ①ネットワーク障害報告
 - ②ペーパーレスについて
 - ③心電図の送信について
 - (3) 病理検査室
 - ①解剖に関する遺族承諾書の発行方法について
 - ②病理データ(報告書、画像)の依頼方法について

③術中迅速検査の依頼方法について

谷綾子 太田明子 丹羽潤児 石向田鶴男 増田秀道 関 裕生 山下伊津男

総括コメント

新館移設後、新システムでのネットワーク障害は少なくほぼ順調に稼働している。運用面で徹底できない点は多々あるがその都度対処し、順次整備していきたい。今後は老朽化して行く検査機器の更新を計画的に検討して行きたい。(森木利昭)

①放射線安全管理委員会

目的①「放射性同位元素等による放射線障害防止に関する法律(以下障害防止法)」の放射線障害予防規定に基づき、放射線発生装置(以下リニアック)による自己発生防止と取り扱い、及び従事者の健康管理に努める。

②「医療法施行規則」「電離放射線障害防止規則(以下電離則)」に基づき、医療用エックス線装置、リニアック、診療用放射性同位元素による事故発生防止と取り扱い、及び従事者の健康管理に努める。

委員長 山本真志

副委員長 赤池正久

委員 小柳竜電樹 宮本日出男 原 秀 岡田美智子 丹羽潤児 望月義弘 近藤 仁 望月一人

開催記録

平成22年3月29日(月)

- ①文部科学省への提出書類の状況報告(障害防止法関連)
- ②障害防止法に定める帳簿類、放射線従事者の被ばく健康診断等の記録の状況。
- ③文部科学省から管理下でない放射性同位元素の調査依頼の報告と対応。
- ④その他
(障害防止法以外)
 - 1) 医師・看護師の被曝記録及び健康診断記録の状況報告。
 - 2) 長時間X線透視を使用したインターベンション時の患者の被曝線量把握について。
 - 3) 透視検査及びカテーテル検査担当看護師に対する放射線被曝勉強会を開催する。

⑩放射線業務委員会

目的 画像診断科：放射線科：放射線技術科：画像診断技術科の運営に関する事項を審議する。

委員長 濱村啓介

副委員長 赤池正久

委員 田中俊夫 村田耕一郎 原 秀 野中教世 池

開催記録

平成21年11月4日(水)

- 1) 平成20年度放射線技術科検査統計報告
- 2) 厚生労働省からの植え込み型ペースメーカー・植え込み型徐細動器に対するパルス透視に関する注意について報告
- 3) CT及びMRI検査同意書の一部変更について。
- 4) 救急外来移動式透視装置(C・アーム)を手術室に貸し出す件について。
- 5) 遠隔画像診断所見確認について。 読影依頼枚数 圧縮方法について。
- 6) フィルムレス実施後の科別フィルム出力状況について。(出力する場合の方法)
- 7) CT・アイソトープ検査血管確保時の当番医師が不在時の対応について。

⑨救急業務委員会

目的 救急業務の円滑な運営を図るため救急診療に関する事項について審議する。

委員長 前田賢人 前田明則

委員 鶴田 悟 野口哲哉 佐野武尚 綾部裕子 竹花卓夫 土井光人 原 秀 野中教世 池谷綾子 岩堀聖子 森 桜子 恒川典子 増田秀道 米津宜則 興津英和 増田治乃 望月一人

幹事 今泉隆宏

開催記録

平成21年4月16日(木)

- 3月分CPAOAの検討
- 3月分内科初診外来の現況報告
- 救急患者として受け入れた患者が死亡した場合について

平成21年5月7日(木)

- 4月分CPAOAの検討
- 4月分内科初診外来の現況報告
- 救急報告事項について

平成21年6月4日(木)

- 5月分CPAOAの検討
- 5月分内科初診外来の現況報告
- 症例検討会の開催について
- 救急外来診療録について

平成21年7月2日(木)

- 6月分CPAOAの検討
- 6月分内科初診外来の現況報告
- 症例検討会の開催について
- 救急外来診療録について

平成21年8月6日(木)
7月分C P A O Aの検討
7月分内科初診外来の現況報告
救急外来診療録の電子化について
メディカルコントロールについて
尿路感染の患者について
平成21年9月3日(木)
8月分C P A O Aの検討
8月分内科初診外来の現況報告
事前管制の対応について
救急セミナーについて
平成21年10月1日(木)
9月分C P A O Aの検討
9月分内科初診外来の現況報告
救急外来診療録について
患者誤認の防止について
平成21年11月5日(木)
10月分C P A O Aの検討
10月分内科初診外来の現況報告
Cアームの使用について
症例検討会の開催について
平成21年12月3日(木)
11月分C P A O Aの検討
11月分内科初診外来の現況報告
先月分C P A O A検証シートについて
高齢者セルフレスキュー推進事業について
年末年始の処方切れの患者について
点滴液の変更について
薬物中毒患者の検査について
平成22年1月14日(木)
12月分C P A O Aの検討
12月分内科初診外来の現況報告
静岡市救急医療体制図について
土日の外科当番日について
年末年始の報告について
遠隔診断について
小児科当番日以外の小児患者について
平成22年2月4日(木)
1月分C P A O Aの検討
1月分内科初診外来の現況報告
診療受付時間終了後の患者受入れについて
小児科当番日以外の小児患者について
当番日の当番医兼一般当直について
外科合同当番日について
平成22年3月4日(木)
2月分C P A O Aの検討
2月分内科初診外来の現況報告
当番日の当番医兼一般当直について

救急診療録の記入漏れについて

⑩手術業務委員会

目的 手術室・心臓血管撮影室・中央滅菌室の円滑な運営をはかり、関係各診療科間の調整を行う。

会議 隔月に開催する。

委員長 加藤茂久

副委員長 佐々木美晴

委員 尾北賢治、水野薫子、宮本日出雄、山崎文郎、
富田浩一、深澤誠司、大和 雄、廣瀬美央、米
沢 圭、池上 聡、野中教世、塚本ひとみ、園
田幸弘、石向田鶴男、綾部涼夫、大隅 進、高
橋俊次、小林尚史

幹事 荒武百合子、渡邊幹夫

開催記録

- ・平成21年4月24日(金) 第57回開催
 - (1) 新規購入設備及び機器の概要説明
 - (2) 手術室有効利用のために
- ・平成21年6月26日(金) 第58回開催
 - (1) 無影灯、手術台、シーリングペンダントの取扱い説明
 - (2) 新設 OP-9ルームの運用について
 - (3) 更衣室ロッカーの鍵管理について
- ・平成21年10月23日(金) 第59回開催
 - (1) 麻酔業務委員会からの報告
 - (2) 医師のスリッパについて
 - (3) 病院建設課より今後の工事の予定
 - (4) 術野で使用するガーゼの変更について
- ・平成21年12月18日(金) 第60回開催
 - (1) 手術室シーリングシステムの移設について
 - (2) 新・OP 部屋割について
 - (3) 超・緊急帝王切開術の対応について
 - (4) ポスミン生食作成について
- ・平成22年2月19日(金) 第61回開催
 - (1) 手術枠について
 - (2) ベッドについて
 - (3) 医師のスリッパについてのお知らせ
 - (4) 準夜帯の手術について

総括

平成21年度は計5回開催された。年度中に無影灯の全室更新および手術台の順次更新がなされたため、その都度 CE および業者から委員会の場で説明を受けた。2年前から始まった手術室リニューアル工事は、Room-9の新設、Room-3の拡張をもって漸く終了したが、各科の手術枠数自体は変わらずに使用部屋の変更に留めたため大きな混乱はなかった。しかし手術件数の増加に伴う手術

枠の見直しは必須であり次年度以降の大きな課題となろう。なお、年度途中の麻酔科医減員に伴う麻酔科枠の変更や自科麻酔の準備等に関しては、宮下副病院長を委員長とした麻酔業務委員会が新たに組織され、当委員会とは別に活動を行うこととなった。(加藤茂久)

①外来業務委員会

目的 外来業務に関する諸問題について健診業務と連携し円滑な運営を図る。

委員長 脇 昌子

副委員長 石橋孝文

委員 田中俊夫、望月敏弘、村田耕一郎、山田 孝、竹花卓夫、野中教世、吉田佳枝、桐山まき子、中川雅之、丹羽潤児、桑山安代、興津健吾、重松 武、渡辺幹夫、山下伊津雄、野口 信、高橋 啓

幹事 川口則行

開催記録

平成21年5月14日(木)

- 1 緩和ケア外来開始について
- 2 外来待時間対策について
- 3 呼吸器内科・外科の改修工事(陰圧室の設置等)について

平成21年9月24日(木)

- 1 外来待時間対策について
- 2 駐車場の完成予定図の説明

平成21年10月15日(木)

- 1 整形外科外来について
- 2 季節性インフルエンザの予約・接種の開始について

平成22年1月25日(月)

- 1 みとり女の像の設置場所について
- 2 駐車場完成後の人の流れについて
- 3 外来待時間対策について
- 4 外来受付時間後の患者振り分けについて

平成22年2月15日(月)

- 1 診療科名(耳鼻いんこう科)について
- 2 駐車場完成後の待合スペースの配置等について

②病棟管理委員会

目的 病棟全体の円滑な運営に努めるとともに、病棟間の調整について看護業務と連携をとり審議する。

委員長 宮下 正

副委員長 山崎文郎

委員 前田賢人、東 卓司、小柳津竜樹、井田雅章、村田耕一郎、岩井一也、横島孝至、遠藤朱美、

池ヶ谷幸恵、井上暢子、山村加寿子、土田裕美、塚本剛生、後藤善人、杉本直樹、渡辺幹夫、野口 信、関 裕生

幹事 岡本浩明、三浦和宏

開催記録

平成21年4月23日(木)(分会として開催)

- ・入院患者への注射オーダの締め切り時間について5月14日付けで通知し、5月18日より入院患者に対する定時注射オーダの追加分締め切り時間を16時に変更した。

平成21年7月14日(火)

- (1) 各診療科の病床数について
- (2) 重症者加算部屋の有効利用
- (3) 心身合併症病床の運用について
11月26日付けで12月1日より「心身合併症病床」の運営を開始する旨、通知。

平成22年3月18日(木)(分会として開催)

- (1) 満床時の病棟経過観察患者(処置室預かり)の対応について
3月24日付けで満床時の病棟経過観察患者の対応について通知。
- (2) 循環器内科の入院サイクルについて

③医療廃棄物管理委員会

目的 当院が排出する医療廃棄物について審議し、その適正な処理に努める。病院で使用する医療ガス及びその設備の保安管理を図り、患者の安全を確保する。

委員長 松本芳博

副委員長 望月茂昭

委員 加藤茂久、岩井一也、富田浩一、牧田まり子、直里佳子、鈴木芳治、望月義弘、杉本直樹、大隈 進、小澤隆宏

幹事 多々羅一美

開催記録

平成22年3月8日(月)

- (1) 医療廃棄物の処理状況報告
- (2) 院内から排出される紙類の処理について
- (3) 平成22年度医療廃棄物処理業者について
- (4) 平成22年度医療ガス取扱い講習会開催について

院内から排出される感染性医療廃棄物の処理量は増加しているため、(平成19年度137万リットル、平成20年度162万リットル)職員への啓発を行い排出量、処理費用削減に努める。

医療ガス設備については、外部講師による取扱い講習

会の開催、保安教育の実施や定期的な保守点検により適正に維持管理を行っていく。(松本芳博)

④災害時医療対策委員会

目的 防火管理業務及び地震防災応急計画について必要な事項を定め、火災・地震・その他の災害を想定した訓練を実施し、人命の安全並びに被害の軽減・防止を図ることを目的とする。

委員長名 千原幸司

副委員長 川口明秀

委員 小野寺知哉、深澤誠司、松本芳博、前田賢人、高橋好朗、富田浩一、佐野倫生、山田 孝、村田耕一郎、牧田まり子、岩堀聖子、榎本康世、桐山まき子、斉藤紀子、鈴木恵子、池ヶ谷博英、小山暢之、丹羽潤児、岩田和彦、大隅 進、久保田美保子、斉藤隆之、新海拓也、川口則行、今泉隆宏

幹事 小澤隆宏、

開催記録

平成21年6月8日(月)

- (1) 新年度メンバーの確認
- (2) 平成21年度の災害時医療訓練概要及びトリアージ研修会について
- (3) トリアージ訓練(年2回;夏季・冬季の時期)予定
- (4) 訓練内容;対策本部の立ち上げ、災害時における機材、各担当部署の流れ等

平成21年7月22日(水)

- (1) 災害時拠点レイアウトの流れ再確認
8月トリアージ訓練日程及び内容の検討;訓練日:8月4日(火)18時から
- (2) トリアージ訓練の手順及び各治療ゾーン部署、搬送手順等の確認
- (3) 災害時(遺体安置場所)の搬送の流れについて

平成21年8月3日(月)

- (1) トリアージ研修会の内容確認
- (2) トリアージ研修会;平成21年8月3日(月)18時00分から
- (3) トリアージ基本訓練;平成21年8月4日(火)18時00分から

平成21年9月14日(月)

- (1) 8月11日(火)早朝発生の「駿河湾沖地震」職員全員の参集(第二配備)時について
※震度5強以上で参集するマニュアルが概ね遵守されていた事を確認した。
- (2) 但し、災害発生時における反省点について
※職員による病院の状況及び問い合わせの連絡があった。

※職員には電話連絡の問い合わせをしないように周知が必要

- (3) 東館夜間防災避難訓練について
訓練日;11月頃で日程を調整

平成21年10月19日(月)

- (1) 竣工もない東館での夜間防災避難訓練における災害時医療委員会メンバーの役割担当について
訓練日;平成21年11月25日(水)18:00からを予定
訓練場所;東館8階病棟

※訓練概要は看護科より計画(案)報告

- ①患者避難誘導方法…水平避難(重症患者を想定)
…垂直避難(独歩患者を想定)
 - ② 応援医師及び応援職員の対応他
 - ③ 消防隊との連携対応
- (2) 事前訓練準備;各職員にエアーストレッチャの取扱使用方法の説明等
 - (3) 訓練時におけるチェックリスト表及び目標時間測定を行う。

平成21年11月9日(月)

- (1) 夜間防災訓練について
訓練日;平成21年11月25日(水)18:30からを予定
訓練場所;東館8階病棟内第2器材庫
- (2) 訓練タイムスケジュール報告
 - ①災害時医療対策委員会メンバーの評価チェックリスト役割担当
 - ②模擬患者避難誘導;担送患者(10名)、護送患者(10名)、独歩患者(10名)
 - ③ 応援医師及び応援職員の対応等
- (3) 消防計画の改正について
 - ①大規模・高層防火対象物等における地震等の災害による被害の軽減を図るため、消防法の一部が改正(平成19年6月)され、現行の防火管理制度に準じて「防災管理制度」が新たに規定された。
 - ②消防法施行令第45条防火管理を要する災害
 - ③防火管理点検対象物の基準に適合するには、当該対象物の管理権原者が消防長及び消防署長に申請し「特例認定」を「3年に1度」立ち入り査察を行う。次回申請は、平成24年6月以降申請
 - ④自衛消防組織図の構成及び任務分担について
※自衛消防組織の編成には、統括管理者「自衛消防隊長」を配置する。
(消防法施行令第4条の2の8、施行規則第4条の2の13)に規定

【資格者】；都道府県知事、消防本部、消防書等の登録を受けた法人が行う自衛消防組織の業務に関する講習課程の修了者が該当

※自衛消防組織編成員には、保安要員「自衛消防活動員」を配置する。

(消防法施行規則第4条の2の8の第3項)に規定

【資格者】；都道府県知事、消防本部、消防書等の登録を受けた法人が行う自衛消防組織の業務に関する講習の修了者が該当

*保安要員の職務内容

- ①初期消火活動
- ②情報の収集・伝達、消防用設備等の監視
- ③在院者の避難誘導
- ④在院者の救出・救護

※自衛消防組織の編成及び体制・任務・統括する者(班長)他

*班長の職務内容

- ①本部隊の体制と任務と統括する者(班長)
- ②業務ごとに設ける各班の任務と統括する者(班長)

上記の者を本部隊と地区隊にそれぞれ定める。

平成21年12月14日(月)

(1) 夜間防災訓練の評価及び講評について

- ①訓練目的の達成；避難経路の確保、患者避難誘導の適確な判断
情報伝達及び連絡体制
- ②訓練場所における各担当者の評価；本部（防災センター）、出火階

(2) トリアージ訓練の概要(案)について

訓練日；平成22年1月21日(木)18：00から予定

訓練場所；東館1階から西館1階及び2階外来待合所

事前訓練日；平成22年1月18日(月)18：00からを予定

訓練場所；西館12階講堂

平成22年1月4日(月)

(1) トリアージ訓練の概要について

- ①訓練日；平成22年1月21日(木)18：00から二部構成で予定

※第一部；事前に訓練参加者へ訓練マニュアル内容の確認及び訓練参加者へのプレゼンテーション等を行う。

・災害対策本部立ち上げ；総務課、医事課他

・トリアージサイト；救急・事務系職員
・搬送；放射線科・検査技術課・リハビリ科
他

・情報収集・ライフライン；看護科・病院施設課

・災害時使用機器器具；臨床工学科他

・ピンクカルテ；医事課

・参集；震度5強以上で全職員が参集

※第二部；トリアージ訓練の手順及び動線

情報収集(被害状況・ライフライン)

被災者へのX線撮影、重症患者の2階治療ゾーンへ搬送

(2) 防災マニュアルの確認

平成22年2月8日(月)

(1) トリアージ訓練結果及び評価の報告

①各担当者から訓練結果の評価

・搬送班；放射線・検査技術・リハビリ等各
メディカルの応援職員

・トリアージセンター；外科系医師及び指導医

・被災者の受付場所；医事課・総務課

・各治療ゾーン；(緑ゾーン)整形外科系医師、
薬剤師

(赤ゾーン)1階・2階の各所で
処置治療

・災対本部前；医療資材・診療材料等の貸出及び
配置場所等及び写真パネル等
でCE職員が説明

(2) 消防・防災対策マニュアルの見直し

*消防計画組織図の差し替え及び見直し変更【各
部署における見直し】

・消防・防災対策マニュアル編(P29)～(P31)、
(P33)～(P70)

平成22年3月8日(月)

(1) 消防・防災対策マニュアルの見直し

※静岡市立静岡病院消防計画(消防・防災)の見
直し(P1～P23)

*防火・防災を統括する委員会として・防火防
災管理委員会を提案

*構成員は運営会議の管理職メンバー(病院長・
各副院長・各診療部長・事務局長・看護部長・
放射線・薬剤・検査各科長等)

・防火・防災管理委員会を補佐する業務部門
を当委員会にする事が運営会議で決定され
た。

・委任された災害時医療対策委員会が検討を
行い、運営会議で報告する。

※今回、防災センターの勤務員が配置された組織
図に変更した。

- (2) 静岡市立静岡病院消防計画の職員等の教育について
 - ※病院内の防火・防災管理者への教育
- (3) 消防計画訓練について
 - ※夜間火災総合訓練……実施時期；10月頃
 - ※地震総合訓練（トリアージ訓練）
 - ……………実施時期；7月・1月頃
 - ※各個別訓練……………実施回数；年4回～5回
- (4) 静岡市立静岡病院救護班の職員変更について
 - ※各部署における変更箇所有り
- (5) 静岡市立静岡病院消防計画について3月の運営会議で審議及び報告

訓練実施

- (1) 新規採用職員訓練 平成21年4月
- (2) 災害時医療訓練 平成21年8月4日
- (3) 夜間防災（火災）訓練【東館8階】
 - 平成21年11月25日
- (4) 災害時医療訓練 平成22年1月21日

㊸輸血療法委員会

目的 安全でかつ適正な輸血療法の推進

委員長 石橋孝文

副委員長 荒井知子

委員 山崎文郎、田中俊夫、水野薫子、米沢 圭、大和 雄、綾部裕子、尾北賢治、内田秀子、野中教世、市川昭美、榎本康世、山田好郎、加茂川暢彦、川口則行

幹事 新村喜明

開催記録

平成21年5月28日（木）

1. 平成21年2～3月の血液製剤使用状況について
2. 平成20年度の年間血液製剤使用状況について
3. 「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」の一部改正について
4. 危機的出血への対応ガイドラインについて
5. 輸血オーダ二次稼働（認証・実施）の進捗状況について
6. 適正使用のお願い（新型インフルエンザによる供給量減少の可能性について）

平成21年7月30日（木）

1. 平成21年4～5月の血液製剤使用状況について
2. アルブミン製剤の変更と同意書について
3. 血小板製剤（PC）及び新鮮凍結血漿（FFP-5）の販売名変更について
4. 輸血オーダ二次稼働（認証・実施）の進捗状況について

5. 貯血式自己血輸血マニュアルの改定について（皮膚消毒手順）

6. 新鮮凍結血漿の適正使用の推進について

平成21年10月1日（木）

1. 平成21年6～7月の血液製剤使用状況について
2. 血小板製剤（PC）のキャンセル期限について
3. アルブミン製剤の実施手順について
4. 輸血オーダ二次稼働（認証・実施）の進捗状況について

平成21年12月3日（木）

1. 平成21年8～9月の血液製剤使用状況について
2. 輸血オーダ二次稼働の進捗状況について
3. 赤十字血液センターの製造業務集約化について
4. 血小板製剤（PC）及び新鮮凍結血漿（FFP-5）の販売名変更について

平成22年2月25日（木）

1. 平成21年10～11月の血液製剤使用状況について
2. 血小板製剤（PC）の販売名変更について
3. 輸血オーダ二次稼働の進捗状況について
4. 輸血療法委員会運用マニュアルの改定について

平成22年3月25日（木）

1. 平成21年12月～22年1月の血液製剤使用状況について
2. 輸血実施入力の説明会を終えて（報告）

総括コメント

平成21年度の最優先課題であった患者認証、実施入力、オンライン会計の構築は、平成22年4月に稼働する運びとなった。これにより、電子カルテ上で輸血履歴を確認することが可能になる。しかし、実施入力に連動した輸血後感染症検査の自動依頼発行や一部機能は間に合わず、引き続き構築することとなった。

輸血用血液製剤の使用状況では、使用量、廃棄量も増加している。今後、赤十字血液センターの製造業務集約化の影響も鑑み、適正使用をさらに推進していくこととした。（石橋孝文）

㊸診療録管理委員会

目的 院内の診療記録・医学資料の保存、廃棄について検討し、よりよい診療録の管理を目指す。更に診療録の記載内容について検討し、診療録の質の向上も目的とする。

委員長 佐々木美晴

委員 鶴田 悟、脇 昌子、前田明則、竹花卓夫、村田耕一郎、遠藤朱美、吉田佳枝、近藤 仁、米津宣則、内田隆夫

幹事 高橋和子、島崎早苗

開催記録

平成21年 4月15日（水）

1. 新委員の紹介
2. 今年度予定課題について
3. 諸用紙変更について

平成21年 6月17日（水）

1. CD-Rの保管について
2. フィルムレス運用開始のフィルム袋管理について
3. 諸用紙変更について

平成21年 8月19日（水）

1. 未記入サマリーの解消について
2. 診断書について
3. 諸用紙変更について

平成21年10月21日（水）

1. 診療記録搬送の見直しについて
2. 病名について（機密病名）
3. 諸用紙変更について

平成21年12月16日（水）

1. 処置室入院の記録について
2. 諸用紙変更について
3. 診療記録保管倉庫について（報告）

平成22年 2月17日（水）

1. 診療情報管理室・閲覧室について
2. 診療記録搬送について
3. 諸用紙変更について

総括コメント

H20年10月に電子カルテに移行し、H21年6月から放射線画像のフィルムレス化を行った。既にH12年からレントゲンフィルムのデジタル保存がされていたため、そのデータをシステムに移行することにより、通常の診療はレントゲンフィルムを取り寄せることなく電子カルテ端末のみで行うことができるようになった。電子カルテ移行から約1年経過したところで、外来診療ファイル（旧外来カルテ）の搬送の必要性につきアンケート調査を行ったところ、まだ搬送を希望する診療科が多く、しばらくは搬送を継続することにした。なお、レントゲンフィルムは希望する数科を除いて搬送を中止した。退院サマリーの記入率アップに関しては以前からの難題であるが、電子カルテ導入以後記入率は80%弱を維持しており、導入以前よりは上昇している。H22年1月に診療情報管理室が地下に完成し仮設病歴室から開放された。

（佐々木美晴）

㉗褥瘡対策委員会

目的 褥瘡対策について、病院として総合的な対策を検討する。

委員長 富田浩一

副委員長 福島裕子

委員 土井光人、黒瀬かよ子、永井一美、岩崎千景、伊藤弘、久保田美保子、金原葉子

幹事 今泉隆宏

開催記録

平成22年 1月27日（水）

- 1 平成21年度の褥瘡新規発生について
- 2 皮膚・排泄ケア（認定看護師）の活動参加
- 3 体圧分散マット・クッションについて
- 4 次年度に向けて

㉘臨床研修管理委員会

目的 臨床研修プログラム委員会で作成、変更された初期臨床研修プログラムについて審議、承認する。

委員長 島本光臣

委員 平田健雄、西村勉、北村明、山田寛、岡山憲一、村上隼夫、西条光洋、岡田美智子、池川茂

幹事 鈴木暁

開催記録

平成22年 3月4日（木）

- 議題
- 1 平成21年度臨床研修認定について
 - 2 平成22年度臨床研修の予定について
 - 3 その他

㉙病院機能評価委員会

目的 病院機能評価項目を参考としつつ、病院としてのクオリティを高めることを目標とし、その実現に努力し、または、病院に対して提言を行うことを目的とする。

委員長 清水言行

副委員長 小柳津竜樹

委員 中井真尚、野口哲哉、前田賢人、佐野武尚、朴貴典、遠藤朱美、青島由里子、青山治子、塚本剛生、鈴木芳治、篠原宏幸、山村英司、杉山弥生、佐藤景二、長谷川祐子、望月茂昭、渡辺幹夫、松田光広、小林尚史、川口孝次

幹事 櫻井もえ美

開催記録

平成22年 3月17日（火）

- 議題
1. 受審結果報告
 2. 改善要望事項等に対する取り組み
 3. 接遇研修について

統括コメント

当院は、日本医療機能評価機構の病院機能評価Version5.0の認定を受けているが、次回受審に向け今後も努力していきたい。また、病院としてのクオリティを高めるため、病院全職員を対象とした接遇研修を開催し、病院職員の資質向上に努めた。(清水言行)

⑩広報委員会報告

目的 病院広報誌の編集、ホームページの管理等をはじめ、広報全般について審議する。

委員長 小野寺知哉

副委員長 高橋好朗

委員 石橋孝文、大和 雄、齋藤克己、牧田まり子、塚本剛生、池ヶ谷博英、堀 吉孝、鈴木光枝、日下部幸伸、斎藤隆之、櫻井もえ美、榎原靖教、三浦和宏

幹事 新海拓也

開催記録

平成21年5月12日(火)

- 議題 1. 体温計79号の編集
2. ホームページ掲載内容の更新について

平成21年7月14日(火)

- 議題 1. 体温計80号の編集
2. ホームページトップページの写真変更について

平成21年9月8日(火)

- 議題 1. 体温計81号の編集
2. 静岡市広報課が作成した病院紹介DVDの試写

平成21年11月10日(火)

- 議題 1. 体温計82号の編集

平成22年1月12日(火)

- 議題 1. 体温計83号の編集

平成22年3月9日(火)

- 議題 1. 体温計84号の編集

統括コメント

広報誌「体温計」については、患者さん等にもわかりやすい言葉遣いを心がけ、親しみやすい文章となるような編集に努めた。また、写真、イラスト等を多く掲載することで視覚的にも興味をもってもらえるよう構成した。

ホームページについては、各コンテンツの基本デザインを統一し、インデックスやサイトマップを充実させることで、使いやすく、わかりやすいものにすることができた。

今後、情報発信の手段としてホームページの役割が重要となると思われるので、随時内容を更新し、情報の充

実を図っていきたい。

(小野寺知哉)

⑪ボランティア支援委員会

目的 静岡病院におけるボランティアの活動が円滑に行われるよう支援する。

委員長 荒井知子

副委員長 桐山まき子

委員 千原幸司、鈴木公子、坂上朋子、小山暢之、石岡咲、鈴木光枝、多々羅一美、星野芳子

幹事 斎藤隆之

開催記録

平成21年5月27日(水)

1. 平成20年度活動状況報告
2. 委員自己紹介
3. ボランティアについて、支援委員のあり方
4. 平成21年度年間活動計画
5. ボランティア室の見学、利用方法

平成21年7月1日(水)

1. 第1回ボランティアミーティングについて
日時：平成21年7月9日(木) 11:00～
2. 京都大学生ボランティア活動研修について
(1) 活動日：①8/24-8/28：2名
②8/31-9/4：1名
(2) 活動内容について、その他
(3) ボランティア研修について
日時：平成21年9月15日(火) 13:00～
講師：桐山師長、佐藤臨床工学科長

平成21年7月9日(木)

第1回ボランティアミーティング開催

平成21年8月11日(火)、8月18日(火)

1. 学生ボランティア受け入れ打ち合わせ
2. その他

平成21年8月24日(月)、8月31日(月)

学生ボランティア研修オリエンテーション

1. 平田副院長挨拶
2. 支援委員会の紹介
3. 日程について

平成21年8月28日(金)、9月4日(金)

学生ボランティア研修修了式

1. 修了証書の授与(池川事務局長より)
2. 学生からの感想

平成21年9月15日(水)

ボランティア研修会開催

平成22年1月21日(木)

中央図書館へ払い下げ図書の選別

平成22年3月15日(月)

1. ボランティア研修会開催

講師：荒井検査技術科長

2. ボランティアミーティングの開催

総括コメント

今年度も会員募集は積極的には実施しなかったが、数人の入会者があり会員数39名となっている。それぞれの活動の場で会員相互の親睦も生まれ楽しく快く活動している様子が伺える。一階フロアでの活動者、活動回数も増えブルー、ピンクのユニホームを見かける日も多くなったと思う。患者さんがボランティアさんに感謝の言葉を発する様に、病院職員もボランティアの存在を意識し、暖かい感謝の言葉をかけ、励まして頂きたい。快くボランティア活動のできる開かれた病院である事を願う。

(荒井知子)

⑫院内感染対策委員会

目的 院内における微生物の感染を積極的に防止し、院内衛生管理に万全を期す。

委員長 岩井一也

副委員長 山崎文郎

委員 島本光臣、佐野武尚、鶴田悟、竹花卓夫、牧田まり子、池谷綾子、青山治子、直里佳子、園田幸弘、杉本直樹、佐藤景二、石上恵美子、別府貴文

幹事 川口孝次

開催記録

平成21年4月22日(水)

1. 入院患者感染情報報告
2. ICT会議の報告と確認について

平成21年4月27日(月)

1. 豚インフルエンザ対策について

平成21年5月20日(水)

1. 入院患者感染情報報告
2. 新型インフルエンザへの対応について
3. ICT会議の報告と確認について

平成21年6月10日(水)

1. 入院患者感染情報報告
2. ICT会議の報告と確認について
3. B型肝炎ワクチンの職員向け接種について
4. 薬剤混注業務時の感染予防について

平成21年7月8日(水)

1. 入院患者感染情報報告
2. ICT会議の報告と確認について

平成21年8月12日(水)

1. 入院患者感染情報報告
2. ICT会議の報告と確認について
3. 委託・派遣職員の針刺し事故について

平成21年9月9日(水)

1. 入院患者感染情報報告

2. ICT会議の報告と確認について

3. インフルエンザの診療体制説明会等について

平成21年10月14日(水)

1. 入院患者感染情報報告

2. ICT会議の報告と確認について

3. 新型インフルエンザ感染対策について

平成21年11月11日(水)

1. 入院患者感染情報報告

2. ICT会議の報告と確認について

3. 新型インフルエンザワクチン接種申込について

平成21年12月9日(水)

1. 入院患者感染情報報告

2. ICT会議の報告と確認について

3. 新型インフルエンザとワクチン接種状況について

平成22年1月13日(水)

1. 入院患者感染情報報告

2. ICT会議の報告と確認について

3. 新型インフルエンザワクチン接種の対象者拡大について

4. 東館9階の清掃状況について

平成22年2月10日(水)

1. 入院患者感染情報報告

2. ICT会議の報告と確認について

3. ワクチンの予防接種について

平成21年3月10日(水)

1. 入院患者感染情報報告

2. ICT会議の報告と確認について

◎説明会

日時：平成21年9月11日(金)

インフルエンザの診療体制説明会

対象 院内職員

講師 平田副院長

◎講演会

日時：平成21年12月14日(月)

テーマ『針刺し事故と感染予防について』

対象：委託・派遣職員

講師：院内感染対策委員会委員

参加者：84人

◎『ICT学習発表会&講演会』

日時：平成22年3月16日(火)、17日(水)

テーマ：1. 標準予防策について(講演)

(院内巡視の状況を踏まえて)

2. エピネット集計報告

3. リンクナース活動報告

- (1) おむつ交換車・PCワゴン車・水回りの整理・整頓・清掃推進グループ
- (2) 注射準備室の日常環境検討グループ
- (3) ゴミ分別ワゴン・医療廃棄物の扱い指導グループ
- (4) スタッフステーションの日常環境検討グループ

講師：院内感染対策委員会委員

参加者：191人（16日：81人 17日：110人）

総括コメント

新型インフルエンザの発生をうけ、パンデミックに備えた準備、情報収集などにはじまり、第1種感染症指定病床を有する医療機関としての役割を果たすべく数多くの問題に取り組んだ1年であった。

瞬く間に県内で診断された1例目の患者を、新築された東館の感染症病床に収容することになった。連日に報道されるどちらかという不安をおおるニュースやマスコミの取材の中、職員への疾患の正しい理解、適正な感染予防策を啓蒙し、職員の献身的な職業意識、協力のもと患者は無事退院することができ、さらに院内での二次感染も見られなかったことは喜ばしい。プロとしての意識、冷静な行動が重要であることを学んだ。

国内外で新型インフルエンザ対策におけるいろいろな問題点などが検証されつつある。感染症の脅威がなくなったわけではないので、今回の反省点を生かして、今後も起こりえる事態に備えられるよう次年度以降も活動を行いたい。（岩井一也）

③③クリニカルパス委員会

目的 医療の標準化を目指し、質の高い医療の提供と、効率的かつ、患者に分かりやすい医療を目指すためのシステム構築と管理を目的とする。

委員長 小野寺知哉

委員 佐野倫生、野口哲哉、米澤真澄、長谷川和樹、井田雅章、前田賢人、小柳津竜樹、中井真尚、遠藤朱美、池ヶ谷幸恵、前田弘子、石井佐智子、高塚敏子、岡本浩明

幹事 島崎早苗

開催記録

平成22年2月1日（月）

1. クリニカルパスシステム機能について
2. クリニカルパスの進捗状況について

平成22年3月17日（水）

1. クリニカルパス承認申請について

総括コメント

クリニカルパスの運用方針と、SBSの電子カルテでのパスシステム機能の確定を行なった。クリニカルパスは各科で医師と当該病棟の看護師、他、必要なスタッフをチームとして作成し、クリニカルパス委員会で形が整っているかを検討し、委員会の承認を受けた後に実際に使用可能とすることにした。治療の標準化を図るために医師ごとに違うパスは作成しないこととした。

パスシステム機能は要望を出し、SBSと協議した。

電子カルテでの実際のパスシステムの運用は、平成22年度からの予定となった。

今後、クリニカルパスの使用により、省力化、安全性の確保、DPCにおける治療の効率化、診療実績の評価が進むようにしたい。（小野寺知哉）

③④患者給食管理委員会

目的 患者給食の基本的事項を審議しその改善向上を図る

委員長 岡田美智子

副委員長 清水正見

委員 脇 昌子、高橋好朗、前田賢人、斎藤紀子、前田弘子、花村多美子、重松 武、今泉隆宏、久保田美保子、金原葉子、寺田恭子、大村真弘、遠藤恵美子

幹事 長谷川祐子

開催記録

平成21年6月12日（月）

1. 平成21年度年間計画について
2. 平成20年度2月の嗜好調査、残食調査の報告
3. 給食の下膳・回収について
4. アレルギー食品の聞き取り内容の変更について
5. 特別食の食事説明の用紙について

平成21年9月8日（月）

1. 給食の下膳・回収について
2. 選択食について
3. 残食調査の報告
4. 5月嗜好調査の報告

平成21年12月14日（月）

1. 嗜好調査の結果について
2. 残食調査の報告
3. 選択食について
4. その他（禁忌食品、経腸栄養剤について）

平成22年3月16日（月）

1. 嗜好調査の結果について
2. 残食調査の報告
3. 経腸栄養剤について
4. その他（禁忌食品について）

今年度の嗜好調査について、9月に行っている年次比較では回収率が65.8%から40.8%と昨年度より低下した。満足度に関しては“満足”、“まあまあ満足”とあわせて81%と昨年度より3%増加し全体的には良好であった。また入院期間別に満足度を調査した結果、1ヶ月以上の長期入院の患者さんは病状や治療上の制限より満足度が低下していた。指示範囲内で嗜好の考慮ができるか、医師、看護師と相談し個別で食事対応をしている。糖尿病食などの特別治療食の患者さんには食事説明用紙を作成し、栄養士が病棟訪問をしている。退院時に医師、看護師が患者指導の際に利用できるよう、院内のネットワー

クに掲載している。

アレルギー食品について、食品衛生法一部改正により特定原材料であるアレルギー食品が増えたため、入院時アレルギー食品のききとりマニュアルを変更した。また入力したアレルギー情報が次回入院時に履歴として反映できるよう、電子カルテのシステムの変更をした。

経腸栄養剤について、NST委員会や各科の医師の要望で、病態別の経腸栄養剤を含め4種類が新規で採用された。栄養剤の選定や適応について院内へ周知していき